

平成 29 年度事業報告書

平成29年 4月 1日から 平成30年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 福祉オンブズおかやま

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 福祉・医療サービス人権相談事業

昨年度も毎週日曜日に電話相談を設けた。平成29年4月2日から平成30年3月31日までの間に51回の相談日を設けた。

今年度は大きく2つの相談案件に対応した。公立病院の改築に伴うバリアフリー工事に関する相談、有料老人ホームにおける利用者の契約問題と労働環境の問題に関する相談を受け付け、それぞれの対応を行った。公立病院の件については、当該市バリアフリー市民会議への問い合わせと会議録の開示請求を行った。有料老人ホームの案件については、数回相談者と面談を行い、利用者とともに岡山市高齢者福祉課にまで苦情の申し入れを行った。その結果、当該有料老人ホームに市担当者が訪問し、苦情解決の仕組みが不十分なことを指摘するに至った。また、休暇が得られないとされた労働環境の改善に向かい、一定の成果をえることに貢献できた。

ホームページ、メールによる相談受付の仕組み作りの検討を昨年度の総会で提案したが、実現に至らなかった。引き続き、情報公開担当理事らとともにシステム構築と、周知するといった課題が残った。昨年度も福祉オンブズ相談員養成講座修了者を中心とした相談部会の組織を作成することを提案したが、組織化には至らなかった。

(2) 調査研究事業

昨年度実施を検討しておりました岡山市内の有料老人ホーム実態調査について、実施できなかった。また、外部研究助成について、獲得できなかった。

(3) 人材育成事業

第4回定時総会（平成29年 5月20日）に併せた記念講演が開催された。『現代の障害者の置かれている環境～支援者として、親として～』と題し、安藤希代子さん（NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ理事長）による講演が行われた。安藤さんが理事長を務めるNPO法人ペアレント・サポートすてっぷの活動内容や相談活動を行う中での疑問を分かりやすい言葉でお話ししていただいた。

「第6回福祉オンブズ相談員養成講座」を二日間（平成29年11月7日・14日）で行われた。受講内容はこれまでと同様、基礎的知識を学ぶ講義編と相談活動の演習となる相談演習編に分けて開催した。講義編をこれまでの「高齢者」「障害者」「子ども」から、「利用者」「家族」「労働者」にテーマを変え、より相談実態に合った内容にリニューアルした。「利用者」の立場を山口雪子さん（岡山短期大学 幼児教育学科 准教授）、「家族」の立場を記念講演に引き続き安藤希代子さん（NPO法人ペアレン

ト・サポート 理事長)に、「労働者」の立場を森本忠春さん(岡山県医療労働組合連合会 書記長)に、それぞれご担当いただいた。山口さんご自身が障害を理由に職場の配置転換を命じられた経験から、安藤さんは障害を持つ子どもの親の立場から、森本さんからは労働組合での相談活動を通じての体験を交えながらお話をいただいた。講義編5人、相談演習編3人の受講生があり、全過程修了者は2人となった。

そして、平成29年度人権・福祉講座として『「なぜ、A型事業所で障害者は解雇されなければならなかったのか？」～その問題点と今後の障害者就労のあり方を考える～』と題し、田辺昭夫さん(倉敷市議会議員)による講座が行われた。昨年から今年にかけて倉敷市等の障害者就労継続支援事業所(A型)が閉鎖し、大量の障害者解雇が起こってしまった。このような事態がなぜ起きたのか?行政には課題は無かったのか?についてお話をいただいた。

上記イベントを、複数の会員とともに運営できるように、人材養成部会を作ることを提案したが、人材不足のため実施には至らなかった。

(4)情報公開事業

Facebook(SNS)およびホームページに、定期電話相談のお知らせを毎週掲載するようしていた。

また浅田訴訟勝訴に関する法人声明および、A型事業所大量解雇問題特集番組(山陽放送)の告知は、SNSページ開設以来最大の反響を得、今後の情報公開事業および法人活動のあり方につき大きな示唆を得ることができた。また法人紹介のリーフレットにある事務所移転に関する記述の修正作業を行った。

(5) 出版事業

昨年の総会で提案した「福祉オンブズ相談員養成講座」などの活動内容をまとめた小冊子については、検討段階であり具体的な準備には至らなかった。

(6) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

昨年度の総会では「住民監査請求」「住民訴訟」を行うための研究を行うとしていたが、至らなかった。

2) その他の事業

(1) 出前教室事業

ホームページのリニューアルに合わせ、出前講座の講師と講座内容の告知を行うとしていたが、ホームページのリニューアルに留まっている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額(千円)
福祉・医療サービス人権相談事業	岡山県内の社会福祉サービス関係者から寄せられた人権問題に関する相談活動を行う。	毎週日曜日 10時～15時	事務所（岡山市北区岩田町5番8号） ※平成30年1月中旬以降は、岡山市北区野田5-8-11	7名	一般市民 多数	25
調査研究事業	当該年度は、実施せず。	—	—	—	—	0
人材育成事業	第4回定時総会時に①『現代の障害者の置かれている環境～支援者として、親として～』と題し、安藤希代子さん（NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ理事長）による講演が行われた。また、平成29年度人権・福祉講座において②『「なぜ、A型事業所で障害者は解雇されなければならなかったのか？」～その問題点と今後の障害者就労のあり方を考える～』と題し、田辺昭夫さん（倉敷市議会議員）による講演が行われた。そして、③「第6回福祉オンブズ相談員養成講座」を行った。	① 平成29年5月20日 ② 平成29年11月7日・11月14日 ③ 平成30年3月3日	① ゆうあいセンター（岡山市北区南方2丁目13-1） ② ゆうあいセンター（岡山市北区南方2丁目13-1） ③ ゆうあいセンター（岡山市北区南方2丁目13-1）	① 7名 ② 7名 ③ 7名	① 26名 ② 6名 ③ 18名	59

情報公開事業	当法人の活動を随時、ホームページおよびFacebookにて情報公開を行った。	随時	事務所（岡山市北区岩田町5番8号） ※平成30年1月中旬以降は、岡山市北区野田5-8-11	1名	一般市民 多数	7
出版事業	当該年度は、実施せず。	—	—	—	—	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
出前教室事業	当該年度は、実施せず。	—	—	—	—

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

活動計算書

2017年 4月 1日 ～ 2018年 3月 31日 まで

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	177,000	177,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	15,000	15,000
3. 事業収益		
人材育成事業収益	44,300	44,300
4. その他収益		
受取利息	1	1
経常収益計		236,301
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
広告宣伝費	7,642	
印刷製本費	6,000	
通信運搬費	25,936	
諸謝金	45,000	
消耗品費	452	
賃借料	8,020	
雑費	355	
その他経費計	93,405	
事業費計		93,405
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	15,204	
通信運搬費	45,751	
消耗品費	321	
賃借料	2,880	
雑費	1,264	
その他経費計	65,420	
管理費計		65,420
経常費用計		158,825
当期正味財産増減額		77,476
前期繰越正味財産額		316,422
次期繰越正味財産額		393,898

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

貸借対照表

2018年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	401,120		
流動資産合計		401,120	
2. 固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			401,120
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,222		
流動負債合計		7,222	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			7,222
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		316,422	
当期正味財産増減額		77,476	
正味財産合計			393,898
負債及び正味財産合計			401,120

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	人権相談事業費	調査研究事業	人材育成事業費	情報公開事業費	事業費計
(1) 人件費					
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
広告宣伝費				7,642	7,642
印刷製本費			6,000		6,000
通信運搬費	25,936				25,936
諸謝金			45,000		45,000
消耗品費			452		452
賃借料			8,020		8,020
雑費			355		355
その他経費計	25,936	0	59,827	7,642	93,405
合 計	25,936	0	59,827	7,642	93,405

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等はありません。当法人の正味財産は393,898円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

財産目録

2018年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	3,500		
ゆうちょ銀行	123,422		
広島貯金事務センター	274,198		
ろうきん	0		
流動資産合計		401,120	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			401,120
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
NTTファイナンス 電話料3月分	2,658		
NTTドコモ 電話料2・3月分	4,064		
藤井宏明 経費	500		
流動負債合計		7,222	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			7,222
正味財産			393,898

前事業年度の年間役員名簿

(平成 29年 4月 1日から平成 30年 3月 31日)

特定非営利活動法人 福祉オンブズおかやま

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	作花 知志		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
2	副理事長	藤井 宏明		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
3	理事	片島 守		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
4	同	加藤 聡		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
5	同	坂本 圭		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
6	同	前原 真弓		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
7	同	前原 成美		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
8	同	藤本 統久		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
9	監事	今岡 清廣		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし
10	同	梶原 行正		平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	報酬なし

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。